リオパラリンピック 陸上 銅メダリスト 佐藤圭太選手が母校・葉梨中を訪問!

6月5日(水)、リオデジャネイロパラリンピック 4×100mリレー 銅メダリストの佐藤圭太選手(トヨタ自動車)が母校である葉梨中学校を訪門しました。

全校生徒を対象にした講話では、佐藤選手自身の小学生時代の話からこれまでの輝かしい記録を生み出すに至った考え方や生き方について話しました。



▲葉梨中を訪れた佐藤選手



▲チャレンジすることの大切さを語る佐藤選手

15才で右足を切断した時の心境について話し、「正しい選択よりも自分で納得のいく選択をしてほしい。自分の人生の操縦席に座って物事を決断することが大切。」と語りました。

また、自身のコンプレックスをどう克服していったかについては、「まず、相手の違いを認めてリスペクトすること。そうすることで自分の障害も個性と考えて自分をリスペクトできるようになった。」と話し、生徒たちに自分で選択しチャレンジしていくこと、自分や相手を尊重することの大切さを伝えました。

講話を聞いた生徒は「相手を認めてリスペクトしていくことの大切さを学びました。 周りの人達に感謝していきたいです。」と感想を述べました。



▲走る姿を披露する佐藤選手

佐藤 圭太 選手

生年月日:1991年7月26日

出 身:藤枝市

経 歴:葉梨中学校→焼津中央高校

→中京大学

所 属:トヨタ自動車

200mの日本記録及び アジア記録保持者

